



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 ころネット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6060 URL <http://www.cocolonet.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 高紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 羽田 和徳 TEL 024-573-6556  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満は切り捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,662	△2.6	389	△23.8	519	△17.0	408	△18.1
27年3月期第3四半期	8,892	△5.1	510	△41.5	625	△34.0	499	△50.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 402百万円 (△21.7%) 27年3月期第3四半期 514百万円 (△50.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	106.32	—
27年3月期第3四半期	129.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	21,613	8,343	38.6	2,171.05
27年3月期	21,361	8,056	37.7	2,096.42

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 8,343百万円 27年3月期 8,056百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—	15.00	—		
28年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,450	△0.5	270	△50.6	390	△43.7	250	△52.7	65.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規一社（社名）一、除外一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	3,843,100株	27年3月期	3,843,100株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	125株	27年3月期	125株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	3,842,975株	27年3月期3Q	3,843,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 施行件数の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産面に新興国経済の減速に伴う影響等がみられるものの、総じて緩やかな回復基調が継続しております。

当社グループの事業基盤となる福島県の経済は、東日本大震災からの復旧・復興へ向けた取組みの継続等により、企業業績や個人消費が堅調に推移しております。

このような環境下、当社グループでは、知名度・ブランド力の向上のためにテレビ・ラジオコマーシャルやWeb広告等によるプロモーション活動を積極的に行いました。また、平成27年7月1日付けで有限会社牛久葬儀社（茨城県牛久市）を完全子会社化いたしました。しかしながら、顧客ニーズの多様化や競合他社との競争激化等、当社事業をとりまく環境は依然として厳しい状況にあります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,662百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は389百万円（同23.8%減）、経常利益は519百万円（同17.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は408百万円（同18.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高または振替高を除き表示しております。

なお当社は、事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント（各連結子会社）の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

#### ① 葬祭事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、死亡者数は前年同期比で増加したものの、同業他社との競争は激化しております。また、顧客ニーズの変化等により、小規模葬儀の割合は増加傾向にあります。

このような状況の下、「健康」や「終活」をテーマとしたセミナーの開催や互助会会員宅への訪問等の地域営業、葬儀施行後のアフターフォロー訪問活動を強化いたしました。また、第2四半期より有限会社牛久葬儀社を連結の範囲に含めたことにより、売上高は3,860百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は157百万円（同35.5%増）となりました。

#### ② 石材卸売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、墓石需要の低迷が継続しました。また、墓石の小型化や、永代供養塔への埋葬需要増加等により、石材使用量は減少傾向が強まっております。

このような状況の下、高品質石種の提案、インド産の石材を取り入れた差別化商品の販売促進等の営業活動に注力しましたが、販売数量の増加には至りませんでした。その結果、売上高は1,258百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は52百万円（同20.7%減）となりました。

#### ③ 石材小売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、墓石需要の低迷が継続しましたが、復興に関連した新規建立や改葬の動きが見られました。

このような状況の下、インド産石材や耐震構造墓石の積極提案を行いました。当期間での受注増加には至りませんでした。しかしながら、高付加価値商品の販売促進及びコスト管理の強化等により収益性が改善した結果、売上高は1,036百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は43百万円（同118.6%増）となりました。

#### ④ 婚礼事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、婚礼組数が減少傾向にあるなか、同業他社が出店し競争が激化しました。

このような状況の下、リスティング広告やホームページのリニューアル等のWeb戦略の強化や、外訪営業による集客力のアップに努めました。しかしながら、前年並みの婚礼件数が確保できず、更に婚礼の小規模化の影響により施行単価も減少した結果、売上高は1,983百万円（前年同期比16.3%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業利益172百万円）となりました。

⑤ 生花事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、生花需要は低調に推移する中、得意先への訪問営業と新規開拓に努めました。また、仕入れコストの圧縮に注力した結果、売上高は417百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は86百万円（同2.7%増）となりました。

⑥ 互助会事業

互助会事業につきましては、互助会代理店による会員募集活動の強化に加え、グループ誕生10周年記念キャンペーンを実施し、会員数の増加を図りました。しかしながら、不動産賃貸収入が減少した結果、売上高は1百万円（前年同期比68.3%減）、営業損失は62百万円（前年同期は営業損失62百万円）となりました。

⑦ 介護事業

介護事業につきましては、医療機関・居宅介護支援事業所との連携強化等の営業活動に注力しました。その結果、売上高は46百万円（前年同期比262.6%増）、営業損失は6百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。

⑧ その他

その他の装販部門については、高級棺等の販売に注力するとともに、新規開拓に取り組みました。その結果、売上高は55百万円（前年同期比10.6%減）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し3,993百万円となりました。これは主に前払式特定取引前受金保全のための国債が満期償還となり、有価証券が減少したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ288百万円増加し17,620百万円となりました。これは主に前払式特定取引前受金保全のために国債を購入したことによる投資有価証券の増加、有限会社牛久葬儀社の子会社化による土地の増加及び長野県佐久市の霊園開発に伴う営業保証金が増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し2,210百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が増加した一方でその他（未払消費税等）が減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し11,060百万円となりました。これは主に前払式特定取引前受金が減少した一方で長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ286百万円増加し8,343百万円となりました。これは主に配当金の支払いによる減少及び親会社株主に帰属する四半期純利益408百万円に伴う利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月30日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想及び個別業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間における特定子会社の異動はありません。

また、当第3四半期連結累計期間において、葬祭事業を営む有限会社牛久葬儀社を完全子会社化し、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28,049千円減少しております。なお、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,140,607	2,292,868
受取手形及び売掛金	774,864	711,930
有価証券	388,882	100,301
商品及び製品	432,982	418,511
仕掛品	40,857	52,471
原材料及び貯蔵品	31,209	34,408
その他	265,441	423,292
貸倒引当金	△45,332	△40,721
流動資産合計	4,029,513	3,993,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,899,854	6,815,986
土地	5,073,143	5,154,240
その他(純額)	272,968	232,457
有形固定資産合計	12,245,965	12,202,685
無形固定資産		
のれん	86,358	159,245
その他	40,079	48,158
無形固定資産合計	126,437	207,404
投資その他の資産		
投資有価証券	2,709,080	2,883,308
営業保証金	599,208	683,739
その他	1,726,471	1,717,468
貸倒引当金	△74,868	△73,695
投資その他の資産合計	4,959,891	5,210,821
固定資産合計	17,332,294	17,620,910
資産合計	21,361,808	21,613,972
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	371,052	341,542
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	692,560	791,792
未払法人税等	74,259	29,714
賞与引当金	150,145	102,430
その他	689,178	644,847
流動負債合計	2,277,195	2,210,327
固定負債		
長期借入金	2,456,350	2,558,181
前受金復活損失引当金	46,967	56,696
資産除去債務	138,506	141,471
負ののれん	130,127	120,832
前払式特定取引前受金	7,918,683	7,881,141
その他	337,507	302,036
固定負債合計	11,028,140	11,060,359
負債合計	13,305,336	13,270,686

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	2,033,012	2,032,312
利益剰余金	5,369,050	5,662,356
自己株式	△120	△120
株主資本合計	7,902,601	8,195,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,728	31,784
為替換算調整勘定	123,141	116,292
その他の包括利益累計額合計	153,869	148,077
純資産合計	8,056,471	8,343,285
負債純資産合計	21,361,808	21,613,972



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,892,691	8,662,302
売上原価	6,060,938	5,873,427
売上総利益	2,831,753	2,788,875
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	5,715	6,863
給料及び賞与	928,790	943,900
賞与引当金繰入額	62,300	61,102
退職給付費用	30,064	30,484
その他	1,294,010	1,357,101
販売費及び一般管理費合計	2,320,882	2,399,451
営業利益	510,870	389,424
営業外収益		
受取利息	29,121	23,953
受取配当金	2,647	2,969
負ののれん償却額	9,294	9,294
持分法による投資利益	—	1,339
掛金解約手数料	37,503	29,433
前受金月掛中断収入	45,264	46,141
その他	77,637	81,020
営業外収益合計	201,468	194,151
営業外費用		
支払利息	45,082	32,853
持分法による投資損失	3,131	—
前受金復活損失引当金繰入額	13,527	20,196
その他	25,184	11,182
営業外費用合計	86,925	64,231
経常利益	625,414	519,343
特別利益		
固定資産売却益	10,927	14,738
投資有価証券売却益	—	1,413
保険解約返戻金	310	6,475
補助金収入	404,158	—
その他	7,036	5,172
特別利益合計	422,432	27,798
特別損失		
固定資産売却損	2,280	1,384
固定資産除却損	20,714	668
固定資産圧縮損	378,375	—
特別損失合計	401,370	2,053
税金等調整前四半期純利益	646,476	545,089
法人税、住民税及び事業税	139,757	119,711
法人税等調整額	7,701	16,782
法人税等合計	147,458	136,494
四半期純利益	499,017	408,595
親会社株主に帰属する四半期純利益	499,017	408,595

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	499,017	408,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,085	1,056
持分法適用会社に対する持分相当額	3,130	△6,848
その他の包括利益合計	15,216	△5,792
四半期包括利益	514,234	402,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	514,234	402,803
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	3,653,470	1,332,566	1,064,744	2,369,115	391,879	3,937	12,794	8,828,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,302	284,586	417	171,579	324,043	240,555	—	1,022,484
計	3,654,773	1,617,153	1,065,162	2,540,694	715,922	244,492	12,794	9,850,993
セグメント利益又は損失(△)	116,492	66,383	19,689	172,507	84,320	△62,219	△37,873	359,300

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	61,932	8,890,441	2,250	8,892,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	44,947	1,067,431	△1,067,431	—
計	106,879	9,957,873	△1,065,181	8,892,691
セグメント利益又は損失(△)	△5,375	353,924	156,946	510,870

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益471,116千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△312,000千円、セグメント間取引消去10,435千円、のれん償却額△4,966千円、その他の調整額が△7,640千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	3,860,475	1,258,940	1,036,515	1,983,827	417,268	1,249	46,397	8,604,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,709	303,253	9,999	167,468	347,255	236,100	—	1,065,786
計	3,862,185	1,562,193	1,046,514	2,151,295	764,524	237,349	46,397	9,670,461
セグメント利益又は損失(△)	157,881	52,642	43,036	△6,467	86,572	△62,574	△6,136	264,955

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	55,377	8,660,052	2,250	8,662,302
セグメント間の内部売上高又は振替高	50,513	1,116,300	△1,116,300	—
計	105,891	9,776,352	△1,114,050	8,662,302
セグメント利益又は損失(△)	△2,829	262,126	127,297	389,424

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益443,167千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△273,000千円、セグメント間取引消去7,742千円、のれん償却額△7,886千円、その他の調整額が△42,725千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第3四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。

(1) 葬祭事業

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
	葬儀施行件数 (件)
株式会社たまのや 福島事業部	915
株式会社たまのや 郡山事業部	178
株式会社たまのや 会津事業部	321
株式会社たまのや 催事事業部	1,534
有限会社牛久葬儀社	128
合計	3,076

- (注) 1 催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社JAライフクリエイティブ福島との業務受託契約による施行件数であります。
- 2 有限会社牛久葬儀社は、平成27年7月1日付けで完全子会社化いたしましたので、平成27年7月1日から平成27年12月31日までの葬儀施行件数を記載しております。

(2) 婚礼事業

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
	婚礼施行件数 (件)
福島地区	193
郡山地区	258
会津地区	84
合計	535

- (注) 上記施行件数については、パーティー・宴会等の施行件数は含まれておりません。